

## A-1 実態に応じた指導

### ○ 新しい課題や目標を立てるにあたって

学校においても家庭においても、何らかの課題を持ち、目標を立てて生活を送っている。この時、「児童にできることは何なのか」「児童が求めていることは何なのか」「児童にどんな力をつけようとしているのか」を見極めることが大切となってくる。これらのことを把握することはとても難しく、担任一人ではどうしていいことではない。児童本人に確認したり、保護者や交流学級の担任に相談したりすることが必要となってくる。また、小学校入学以前に関わってきた各機関と連絡を取り合い、アドバイスをもらったりすることも大きな力となってくる。さらに、いつも児童の側にいる友だちの声かけからも、ヒントを得ることが多い。これらのことを大切にしながら、決して無理することなく、児童の関心・意欲・体調を十分に配慮して新しい課題を設定したり、目標を立てたりしていこうと考えている。

### ○ 目標を立てチャレンジしていること ⇒ ①生活の中で生かし活用する ②自立をめざす第1歩

#### 1. 根気よく取り組めること

児童自身が活動の内容を理解し、自発的に取り組める活動へつなげていこうと考える

毎日の日課として取り組める活動 ⇒ 日めくりカレンダー・天気調べ・時間割

- ・ 日めくりカレンダー … カレンダーをめくる、ごみ箱に捨てる、日時や曜日を確かめる、確認する  
かずの学習
- ・ 天気調べ … 天気調べカードの作成（色の名前、色塗り、はさみ）、糊つけ  
用具の片付け、天気の種類と確認、季節の移り変わり
- ・ 時間割 … スポンジつかみ、予定の確認

#### 2. 達成できること

できることの喜びを感じさせることを目標に課題を設定する

こつこつと取り組み作品が仕上がる、視覚に訴え「できた」と見てわかること、ほめられたり表彰されたりすることなどにより児童に達成感が感じられると考える

- ・ 絵本作り … 学習の成果として仕上がるもの
- ・ マラソン … 1日1～2kmを目標に毎日走る（全校活動、月毎に表彰される）
- ・ 教室の掲示 … 各教科の学習で手がけた作品が、そのまま掲示物として生かされる。  
教室に貼ったり置いたりして、室内を飾ることができる。

#### 3. 自分の力でできるだけやってみること

いろいろなことにチャレンジし経験を増やす

やったことないかも ⇒ でも、できそうだなあ ⇒ やってみよう …

- ・ 作物作り … 種まき、苗植え、水やり、収穫、調理、会食
  - ・ そうじ … モップ
  - ・ 歯磨き … 給食後、日常生活の指導の時間として位置づける
- 【チャレンジの言葉】
- ・ じょうずにできたね。
  - ・ また、やろうね。
  - ・ やる気まんまんだね。
  - ・ どうしたら、うまくできるかなあ。

### ○ 交流学級の学習や学校行事の中で、できないことは無理をしない。できることにかえて参加する。

### ○ 周りの人たちに理解してもらおう。周りの人たちに助けてもらおう。

「助け合うことのすばらしさ」を伝えたい ⇒ 助けてもらうことは恥ずかしいことではない  
生きているからこそ助け合う = 「互いを思いやること」「互いを大切にすること」

### ○ 生き生きと活動に参加する方法の吟味 ⇒ 楽しく活躍する場の実現